

令和7年度版『伝え合う言葉 中学国語1』年間指導計画・評価計画（案）

〔第1学年〕目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

- 凡例 ま 教科書記載のまなびリンク（二次元コード）の活用が有効なところ
教 P00 教科書の関連ページを参照
ICT ICTの活用が有効なところ

指導時期	単元	教材名	配当時数 ()内は含まれる領域の時数	教材目標	学習活動の流れ *は学習活動の留意点	学習指導要領との対応		評価規準(例)
						知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	
4月	一	聞くとということ	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 言葉をとおして自分と相手を理解する。 	1 文章を読んで、これからの中学校生活で伝えたいこと、聞きたいことをまとめ、共有、交流する。 * 筆者の言う記憶や思い出が、人の話を聞く時になぜ大切なのか、各自でまとめ、共有させる。	(1)ウ	C(1)イ◎ C(1)オ C(2)イ	【知識・技能】 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 [C(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで文章を読んで、理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
		【話す聞く】お気に入りの一品を紹介する	話聞2	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。 	1 一品の特徴や理由をメモし、メモをもとに紹介文を書いた後、紹介の練習を各自で行う。 * 伝えたいことを明確にするためには、何に気をつけたらよいかを考えてスピーチメモを作成するよう促す。 2 第一時の練習を踏まえて思いを効果的に伝えるための工夫を考え、ペアやグループで紹介し合う。	(1)ア	A(1)ア◎ A(2)ア	【知識・技能】 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 [(1)ア] 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 [A(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理して伝える内容を検討し、学習課題にそって伝え合おうとしている。

		桜蝶	4	<ul style="list-style-type: none"> ● 行動や心情を表す言葉を文脈に注意して読む。 ● 文学作品の構成や展開、人物の関係を描写から捉える。 	<p>1 『桜蝶』AとBを読み、構成や展開、描写の仕方によどのような違いがあるか考える</p> <p>2 『桜蝶』Aを読み、描写をもとに登場人物の心情の変化や関係を捉える。</p> <p>3 『桜蝶』Bを読み、描写をもとに登場人物の心情の変化や関係を捉える。</p> <p>* どのように心情が変化しているのか、どのような心情の変化が話を展開させているのかを読み取らせる。</p> <p>4 文学的な文章を読むときにどのような点に注目すべきかについて、自分なりに考えたことを発表し合う。</p>	ま	(1)ウ	C(1)イ◎ C(1)ウ C(2)イ	<p>【知識・技能】 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)ウ]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 [C(1)イ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く二つの文章を読み比べ、場面と描写などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって、考えたことを伝え合おうとしている。</p>
		文法の小窓1 言葉の単位 文法（解説） 1 言葉の単位	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。 	<p>1 P30『文法の小窓1』を読んで内容を確認したあと、P278～280『言葉の単位』を読み、「やってみよう」に取り組む。</p> <p>2 前時の学習内容を確認したのち、文節や単語について理解を深める。また「インターネットの文章」について理解する。</p>		(1)エ◎		<p>【知識・技能】 ◎単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 [(1)エ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に言葉の単位について理解するとともに、見通しをもってその役割を考えようとしている。</p>
5月	二	自分の脳を知っていますか	5	<ul style="list-style-type: none"> ● 意見と根拠などの関係について理解する。 ● 文章の中心的部分や付加的部分、事実と意見との関係を捉え、要旨を把握する。 	<p>1 「学びナビ」を確認する。全文を通読し、クッキーを使った二つの実験の説明によって、筆者が伝えようとする内容を捉える。</p> <p>2 クッキーを使った二つの実験の説明によって、筆者が伝えようとする内容を捉える</p> <p>3 「脳の奇妙な癖」について「おとり効果」の有効な点と問題点を整理する。</p> <p>* 有効な点については、「原因と結果」の関係を理解したうえで捉えるように注意する。</p> <p>4 文章の中心的部分と付加的部分を分け、筆者の考えを文章にまとめる。</p>	ま ま	(2)ア	C(1)ア◎ C(1)ウ C(2)ア	<p>【知識・技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 [(2)ア]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 [C(1)ア]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く文章の要旨を把握し、学習課題にそって筆者の考えをまとめようとしている。</p>

				5 文章にまとめたものを学習者どうしで読み合い、相互評価する。				
	【書く】 資料をもとに 紹介文を書く	書6	<ul style="list-style-type: none"> 指示する語句と接続する語句との役割について理解を深める。 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割を意識して文章の構成や展開を考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 「学びナビ」を読み、内容を理解する。「まなびリンク」を活用しながら紹介文に書きたい事柄を定める。 本やインターネットなどで情報収集をする。 書きたい内容を短冊に書いて構成を考える。 <p>*ペアやグループで、構成について友達と指摘し合うよう促す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 構成をもとに文章を書く。 段落の構成に注意して推敲する。 書いたものを交流し、資料の読み取りや構成の工夫について確認し合う。 	ま ICT	(1)エ	B(1)イ◎ B(2)イ	<p>【知識・技能】 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 [(1)エ]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 [B(1)イ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考え、学習課題にそって紹介文を書こうとしている。</p>
	漢字の広場1 漢字の部首	1	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の部首についての理解を深める。 	<ol style="list-style-type: none"> 「部首」について理解し、「練習」によって理解の確認を行う。 		(1)イ◎		<p>【知識・技能】 ◎学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 [(1)イ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。</p>
6月	言葉の小窓1 日本語の音声 言葉（解説） 1 日本語の音声	2	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の音の特徴を理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> P50『言葉の小窓1』を読み、内容を確認したあと、P266～267『日本語の音声』を読み、内容を整理する。 前時の学習内容を確認したのち、「アクセント」の「やってみよう」「考えてみよう」に取り組む。また「イントネーションと伝え方の工夫」について理解する。 		(1)ア◎		<p>【知識・技能】 ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 [(1)ア]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に音声の働きや仕組みを理解し、学習の見通しをもって日本語の音の特徴について理解を深めようとしている。</p>
	【話す聞く】 構成を考えて 話す	話聞4	<ul style="list-style-type: none"> 中心となる内容とそれを説明する内容の関係を踏まえながらス 	<ol style="list-style-type: none"> エピソードに関する情報を集める。 伝えたい内容について検討する。 	ま	(2)イ	A(1)イ◎ A(1)ウ A(2)ア	<p>【知識・技能】 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 [(2)イ]</p>

			<p>スピーチの構成を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の反応を見て、それに応じた表現の仕方を工夫する。 	<p>*伝えたい中心的な内容と付加的内容を考えることで、スピーチに必要な要素を集めさせる。</p> <p>3 話す順番や表現の仕方などを検討し、グループでスピーチを行う。</p> <p>4 互いのスピーチについてよかった点や改善点を話し合う。</p>				<p>【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。 [A(1)イ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く相手の反応を踏まえながら表現を工夫するとともに、学習課題にそって伝えたいことを話そうとしている。</p>
三	ベンチ	4 (書1)	<ul style="list-style-type: none"> 本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。 	<p>1 本文を読み、「ベンチ」の表す状況を捉えて、自分なりの課題をもつ。</p> <p>2 「みちしるべ」を活用して、図書館から情報を集める方法を理解する。</p> <p>3 図書館から集めた情報を整理して、紹介する本を選ぶ。</p> <p>4 本の帯やポップの作り方について理解を深め、効果的な表現を考えながら作成する。</p>	ま ま ま ま ICT	(3)オ◎	<p>C(1)イ◎ C(1)ウ C(2)ウ</p> <p>B(1)ア B(2)ア</p>	<p>【知識・技能】 ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 [(3)オ]</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 [B(1)ア]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 [C(1)イ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで読書が考えを広げることに関与することを理解し、学習の見通しをもって考えたことを提案しようとしている。</p>
7月	全ては編集されている／写真で「事実」を表現する	2 (書1)	<ul style="list-style-type: none"> 文章や映像などに表されている情報と情報の関係を捉える。 写真を見るとき視点を知り、写真の特徴を生かした多様な活用の仕方について考える。 	<p>1 『全ては編集されている』を読み、内容を理解する。『写真で「事実」を表現する』を読み、P69～70の課題に取り組む。</p> <p>2 前時の学習内容を確認したのち、P71の課題に取り組む。</p>		(2)ア◎	<p>C(1)ウ◎ C(2)ウ</p> <p>B(1)ア B(2)ウ</p>	<p>【知識・技能】 ◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 [(2)ア]</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 [B(1)ア]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。 [C(1)ウ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで情報の扱い方についての理解を深め、学習課題にそって目的に応じて適切に情報を読み取り、伝えたい情報を明確に表現しようとしている。</p>
	漢字の広場2 画数と活字の字体	1	<ul style="list-style-type: none"> 画数と活字の字体についての理解を深める。 	<p>1 「画数と活字の字体」について理解し、「練習」によって理解の確認を行う。</p>		(1)イ◎		<p>【知識・技能】 ◎学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 [(1)イ]</p>

									【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
		【書く】 材料を整理して案内文を書く	書5	<ul style="list-style-type: none"> 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解し、それらを使う。 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を集めて整理し、伝えたいことを明確にする。 	<ol style="list-style-type: none"> 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解し、誰に何を案内するのかを考え、必要な情報を集めて整理する。 * 情報整理の仕方を解説し、相手によって必要な情報が変わること気づかせる。 整理した情報をもとに、案内文の構成を考える。 相手や目的を意識しながら案内文を書く。 自分の書いた案内文を推敲し清書する。 推敲した案内文を読み合い、相手や目的にふさわしい案内文について考える。 		(2)イ	B(1)ア◎ B(2)イ	<p>【知識・技能】 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。 [(2)イ]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 [B(1)ア]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで集めた情報を整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。</p>
9月	四	持続可能な未来を創るために—人の暮らし方を考える／「エシカル」に生きよう	3（話聞1書1）	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。 	<ol style="list-style-type: none"> SDGsの紹介、SDGsに関する資料と「まなびリンク」を参考に、「最初の『問い』」を考える。 『「エシカル」に生きよう』を読み、社会課題と自分の生活とを結びつけて考える。 「次の『問い』」と「最後の『問い』」について話し合い、自分の考えを表現する。 	ま ま ま ま ま	(2)ア (2)イ	A(1)ア◎ A(1)オ A(2)イ B(1)ア◎ B(1)ウ B(2)ア C(1)オ◎ C(2)アウ	<p>【知識・技能】 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。 [(2)イ]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 [C(1)オ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、今までの学習を生かして本や資料をもとに考えを深めようとしている。</p>
		森には魔法つかいがある	5（書1）	<ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠など情報と情報との関係について理解する。 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 本文を読み、重要語句を抜き出し意味を理解する。 文章の論理の展開を捉える。 文章全体の構成を確認し、筆者がたどった問題解決の道筋を整理する。 比喩表現を整理し、これらの表現を用いて説明する筆者の意図について考える。 <p>※直喩、隠喩、擬人法の三つに分けて、それぞれの意味と効果を考えて整理し、気づいた</p>	ま ま	(2)ア	C(1)ア C(1)エ◎ C(1)オ C(2)ア B(1)オ B(2)ア	<p>【知識・技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 [(2)ア]</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 [B(1)オ]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 [C(1)エ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く文章の論理の展開や表現の工夫について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことをまとめようとしている。</p>

				<p>ことや考えたことをグループで交流させる。</p> <p>5 考えたことを文章に書き、それを読んで感想を述べ合い、自分の考えを支える根拠をさらに明確にする。</p>				
	<p>文法の小窓2 文の成分</p> <p>文法（解説） 2 文の成分</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> 主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。 	<p>1 『文法の小窓2』を読んで、違和感を抱く文の要因について考えるとともに、P281を読んで文の成分とは何か理解する。</p> <p>2 P282～284を読んで、文の成分の種類とそのはたらきについて理解する。</p> <p>3 P284～285を読んで、文の成分の組み立て、文の成分どうしの関係について理解する。</p>		<p>内容の取扱い 2(1)ア (2年(1)オ◎)</p>		<p>【知識・技能】 ◎文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。[第二学年(1)オ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで文の構成に興味・関心を抱き、文の成分の種類と働きを理解するよう、積極的に文の構成について理解を深めようとしている。</p>
10月	<p>【書く】 根拠を明確にして意見文を書く</p>	書5	<ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠など、情報と情報との関係を理解する。 根拠を明確にし、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。 	<p>1 「学びナビ」を読んで「根拠と主張」について理解し、題材について自分の経験と知識を整理する。</p> <p>2 自分の考えと他者の考えを比較したり、客観性のある情報を探し、関係づけたりして根拠を考える。</p> <p>*主張とその理由、理由の根拠の関係に整合性があるか検討させる。</p> <p>3 文章の構成を考え、根拠を明確にして、自分の考えを書く。</p> <p>4 作成した意見文を推敲し、加筆・修正する。</p> <p>5 推敲した意見文を読み合い、意見と根拠について考えをまとめる。</p>	ま ICT	(2)ア	B(1)ウ◎ B(2)ア	<p>【知識・技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。[(2)ア]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。[B(1)ウ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで根拠が明確な文章になるように工夫し、学習課題にそって自分の考えたことを書こうとしている。</p>
	<p>広告の情報を考える</p>	2(書1)	<ul style="list-style-type: none"> 広告を作る要素を整理し、広告を見る観点を知る。 広告の特徴について理解し、広告を作る。 	<p>1 『広告の情報を考える』全体を読み、感想を伝え合う。P108の課題に取り組む。</p> <p>2 前時の学習内容を確認したのち、P109の課題に取り組む。</p>	ま	(2)イ◎	C(1)ウ◎ C(2)ウ B(1)ア B(2)イ	<p>【知識・技能】 ◎比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。[(2)イ]</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題</p>

									材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 [B(1)ア] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している。 [C(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべきことを整理して書こうとしている。
五	昔話と古典	1	<ul style="list-style-type: none"> 古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる。 	1 古典の仮名遣いに注意して川柳を読み、昔話を讀んだり聞いたりした経験を話し合い、古典の世界に興味・関心をもつ。	ま	(3)ア (3)イ◎	C(1)イ◎ C(2)イ	【知識・技能】 ◎古典には様々な種類の作品があることを知っている。 [(3)イ] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 [C(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで昔話に関する知識を手がかりに本文を読み、学習課題にそって、新しく知ったことについて話し合いの場で発言しようとしている。	
	物語の始まり	4	<ul style="list-style-type: none"> 仮名遣いに注意しながら音読し、古典に親しむ。 登場人物の関係や心情に注意して、内容を理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 『竹取物語』について知っていることを発表したり、冒頭部を通読したり音読したりする。 前半部を音読したり、歴史的仮名遣いに注意しながら原文をノートに書き写したりして、理解を深める。 後半部を音読したり、歴史的仮名遣いに注意しながら原文をノートに書き写したりして、理解を深める。古典の言葉と現代語のつながりについて考える。 『竹取物語』について調べ、絵本などの「かぐや姫」と『竹取物語』の異なる点を文章にまとめたり、話し合ったりして、そのおもしろさを考える。 	ま ま ま ま 教 P302	(3)ア◎	C(1)イ◎ C(2)イ	【知識・技能】 ◎音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 [(3)ア] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 [C(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。	
	故事成語	3	<ul style="list-style-type: none"> 漢文訓読の仕方を理解したり、音読したりして、漢文に慣れる。 	1 「矛盾」の書き下し文を音読することで漢文に慣れる。また、「矛盾」の盾と矛を売る人がなぜある人の質問に答えることができなかったのか	ま	(3)ア◎	C(1)イ◎ C(2)イ	【知識・技能】 ◎音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 [(3)ア]	

			<ul style="list-style-type: none"> • いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 	<p>考え、説明する。</p> <p>* 「まなびリンク」を活用して古典の仮名遣いへの理解を深めるとともに、中国の古典への興味関心を高めるようにする。</p> <p>2 「助長」の書き下し文を音読することで漢文に慣れる。また、苗がなぜ枯れていたのか、説明する。</p> <p>3 P129L9で紹介されている故事成語の意味や由来を調べ、それを使った短い文章を書いて発表する。</p>				<p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 [C(1)イ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで音読に必要な訓読の仕方を知り、学習の見通しをもって文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。</p>
11月	蜘蛛の糸	2	<ul style="list-style-type: none"> • わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 	<p>1 作品を読み、物語のあらすじを捉え、感想を伝え合う。</p> <p>2 「作品解説」を読み、『蜘蛛の糸』についてのさまざまな解釈を学び、考えを深める。</p>	ま	(3)オ◎	C(1)イ◎ C(1)エ C(2)ウ	<p>【知識・技能】 ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 [(3)オ]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 [C(1)イ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで読書が考えを広げることに関与することを理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝えようとしている。</p>
	六 河童と蛙	2	<ul style="list-style-type: none"> • 比喩や反復などの表現の技法を理解する。 • 詩の構成や展開、表現の効果について考える。 	<p>1・2 「学びナビ」を確認し、オノマトペの特徴や効果に注意して詩を読み、場面や登場人物の様子が伝わるように朗読する。</p> <p>* 本文のどこをどのように解釈したか、その解釈を踏まえて朗読をどう工夫するのかを意識させながら発表させる。</p>	ま	(1)オ	C(1)エ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 [(1)オ]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 [C(1)エ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで表現の技法を理解するとともに、学習課題にそって、詩を読んで考えたことを伝えようとしている。</p>
	オツベルと象	7	<ul style="list-style-type: none"> • 語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 • 場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈する。 	<p>1 「学びナビ」を読んで学習内容を整理して、本文を通読し、語り手や登場人物の関係を整理する。また、「まなびリンク」を活用して難解語への理解を深める。</p> <p>2 全文を音読し、擬声語・擬態語の使われ方の特徴とその効果を考える。</p>	ま	(1)ウ	C(1)ウ◎ C(1)エ C(2)イ	<p>【知識・技能】 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)ウ]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。 [C(1)ウ]</p>

			<p>3 「オツベル」と「白象」はどのような人物として描かれているか、会話部分に着目しながらまとめる。</p> <p>4 「第一日曜」「第二日曜」のできごとと、「第五日曜」のできごとから、共通点と相違点を比べる。</p> <p>* 共通点と相違点を捉えるときには「牛飼い」「オツベル」「白象」「百姓ども」の心情や行動から考えるよう促す。</p> <p>5 「ああ、ありがとう。ほんとに僕は助かったよ。」と、白象が「寂しく笑って」言った理由について文章にまとめて伝え合う。</p> <p>6 「第一日曜」「第二日曜」と「第五日曜」では、牛飼いの語り方が変化していることを踏まえ、牛飼いがどのような気もちでこの物語を語ったのかを考える。</p> <p>7 『オツベルと象』についてグループごとに感想を述べ合い、自分の考えを深める。</p>				<p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈し、学習課題にそって、作品を読んで考えたことを伝え合おうとしている。</p>
【書く】 随筆を書く	書 4	<ul style="list-style-type: none"> 身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。 	<p>1 身近に起こったこと、経験したことなどを思い浮かべ、そこから新しく発見したことやそのこと自分の自分にとっての意味を考え、随筆に書く内容を決める。</p> <p>2 読み手をひきつけるような文章の展開を考える。教科書 P171 を読み、随筆にふさわしい表現があることを理解したうえで、最も適切な言い回しを意識しながら随筆を書く。</p> <p>* 表現したいことを表す言葉を見つけるときには、同じような意味の言葉を探し、適切なものを選ぶようにする。</p>	ま ま	(1)ウ	B(1)エ◎ B(2)ウ	<p>【知識・技能】 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)ウ]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。 [B(1)エ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。</p>

				3 推敲の観点をもとにして、 下書きを読み合う。 4 書いた随筆を学習者どうし で読み合い、工夫した言い回 しを確認し合う。				
1 2 月	言葉の小窓 2 日本語の文字 言葉（解説） 2 日本語の文字	1	● 日本語を書き表 す文字の特徴を 理解する。	1 『言葉の小窓 2』を読み、 内容を確認したあと、P 270 ～273『日本語の文字』を読 み、内容を整理する。	ま 教 P132	内容の取 扱い 2(1) ア (小 5・ 6(3)ウ) (1)イ◎		【知識・技能】 ◎学年別漢字配当表に示され ている漢字に加え、その他の常用漢字を読んで いる。また、学年別漢字配当表の漢字を書き、 文や文章の中で使っている。 [(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に漢 字を読み、または漢字を書くとともに、今まで の学習を生かして文や文章の中で使おうとして いる。
	七 子どもの権利	4（話聞 1）	● 専門的な事柄な どを表す語句の 意味をおさえ、 文章内容を捉え る。 ● 反論を用いた文 章の構成や展開 に着目して、筆 者の主張を読 む。	1 「学びナビ」を読み、内容 を整理する。本文を通読し、 意見・感想を伝え合う。「ま なびリンク」を活用して「子 どもの権利条約」についての 理解を深める。 2 「子どもの権利条約」の内 容と本文を照らし合わせ、世 界における考え方の変化につ いてまとめる。 3 文章中の「反論」の部分 をおさえながら、文章の構成を 確認して論理を捉え、筆者の 説明や主張を整理する。 *序論、本論、結論と進むにつ れて、立場がどう変化してい るか、考えさせる。 4 筆者の主張を踏まえ、子ど もの権利について考えたこと を話し合う。	ま ま ま	(1)ウ C(1)エ◎ C(1)オ C(2)ア A(1)イ A(2)ア	【知識・技能】 事象や行為を表す語句の量を 増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上 の意味との関係に注意して話や文章の中で使う ことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしてい る。 [(1)ウ] 【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこ と」において、自分の考えや根拠が明確になる ように、話の中心的部分と付加的部分、事 実と意見との関係などに注意して、話の構成を 考えている。 [A(1)イ] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」におい て、文章の構成や展開、表現の効果について、 根拠を明確にして考えている。 [C(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く自 分の考えを確かなものにするとともに、学習課 題にそって考えたことを伝え合おうとしてい る。	
	【話す聞く】 調べた内容を 聞く	話聞 3	● 得た情報を整理 し、相手が伝え る内容を予想し ながら聞く。 ● 相手の話と自分 の考えとを比較 しながら聞き、 その共通点と相 違点を踏まえて	1 「予想する」ことを理解 し、「調べたこと」と「考え たこと」を整理して自分の考 えをまとめる。 2 調べた内容をもとに、スピー チの内容や構成を検討す る。 3 スピーチをしたり聞いたり して、自他の内容について共 通点や相違点を踏まえなが		(2)イ A(1)エ◎ A(2)ア	【知識・技能】 比較や分類、関係付けなどの 情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方 について理解を深め、それらを使っている。 [(2)イ] 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこ と」において、必要に応じて記録したり質問し たりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点 などを踏まえて、自分の考えをまとめている。 [A(1)エ]	

				考えをまとめる。	ら、テーマについて考えをまとめる。 *自分のスピーチとの共通点と相違点をメモしながら相手のスピーチを聞くよう促す。				【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に共通点や相違点を踏まえて考えをまとめ、学習の見通しをもって、報告を聞いて質問しようとしている。
		漢字の広場3 漢字の音と訓	1	● 漢字の音と訓についての理解を深める。	1 「漢字の音と訓」について理解し、「練習」によって理解の確認を行う。		(1)イ◎		【知識・技能】 ◎学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 [(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、これまでの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
1月	八	言葉がつながる世界遺産／地域から世界へ—ものづくりで未来を変える—	5	● 事実と意見など、情報と情報との関係について理解する。 ● 事実と意見の関係などについて注意して読み、筆者の考えを捉える。	1 「学びナビ」を読み、内容を整理する。事例に着目しながら本文を通読し、意見・感想を伝え合う。 2 「修復記録の蓄積」と「世代を超えた技術の伝承」について、事例の取り上げ方に注目してまとめる。 3 論理の展開を捉え、筆者の説明や主張を整理する。 4 題名にこめられた筆者の考えについてまとめる。 5 文章をもとに、「日本の文化に対する世界からの評価」「伝統的な技術の継承や発展」について考えたことを話し合う。 *内容だけでなく、どのような構成や展開、表現の工夫がなされているかについて、具体的に事例をあげながら、説明の仕方の工夫に着目するように伝える。	ま	(2)ア	C(1)ア C(1)オ◎ C(2)ア	【知識・技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 [(2)ア] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 [C(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く理解したことに基づいて考えを確かなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。

	<p>【書く】 報告文を整える</p>	書 4	<ul style="list-style-type: none"> 接続する語句の役割を理解し、使う。 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える。 	<ol style="list-style-type: none"> 「学びナビ」と本文を読み、調べて報告したいテーマを決めて、テーマに関するデータを集める。 集めた調査結果を読み取り、書く順序にそって下書きをする。 推敲の観点をもとに下書きを読み合い、推敲する。 *「その段落で伝えたいことが段落のはじめに書かれているか」「段落と段落、文と文を接続する語句でつないでいるか」など、推敲の観点を共有する。 報告文を完成させ、読み合う。 	ま ICT	(1)エ	<p>B(1)エ◎ B(2)ア</p>	<p>【知識・技能】 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 [(1)エ] 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。 [B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に読み手の立場に立って叙述の仕方などを確かめるとともに、学習課題にそって、文章を推敲しようとしている。</p>
2月	<p>文法の小窓 3 単語のいろいろ</p> <p>文法（解説）3 単語のいろいろ</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> 自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 『文法の小窓 3』を読み、内容を確認したあと、『単語のいろいろ』の「自立語と付属語」を読み、「考えてみよう」に取り組む。 「活用のある単語と活用のない単語」から「活用のある自立語」までを読み、「考えてみよう」に取り組む。 「活用のない付属語」と「活用のある付属語」を読み、内容を理解する。「品詞分類表」によって品詞の全体を把握する。 	ま	(1)エ◎		<p>【知識・技能】 ◎単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 [(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで単語の類別について理解を深め、今までの学習を生かして言葉を分けて考えることの大切さを理解しようとしている。</p>
	<p>【話す聞く】 発言を結びつけて話し合う</p>	話聞 4	<ul style="list-style-type: none"> 話し合う目的や、どのような順序で話し合うかを確認する。 互いの意見を結びつけて整理しながら話し合い、自分の感想や考えをまとめる。 	<ol style="list-style-type: none"> 「学びナビ」を読んで、「考えをまとめる」ことについて理解し、学習の見通しをもつ。 教科書P231 の話し合いの例を参考にして、定義する言葉を決め、意味や文例を考える。 グループの話し合いを進め、さまざまな意見を整理して言葉の定義をまとめる。 *教科書や「まなびリンク」の例を参考にさせる。 	ま	(2)ア	<p>A(1)オ◎ A(2)イ</p>	<p>【知識・技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 [(2)ア] 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。 [A(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで互いの発言を結びつけて考えをまとめ、学習の見通しをもってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。</p>

					4 言葉の定義が、これまで話し合った内容と合致したものとなっているかをグループで確認する。				
		漫画で「物語」を表現する	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 漫画を形づくる要素を整理し、表現の特徴について理解する。 ● 漫画の中の絵と言葉との関係を捉え、読み手に対する効果を考える。 	1 『漫画で「物語」を表現する』全体を読み、感想を伝え合う。P234の課題に取り組む。 2 前時の学習内容を確認したのち、P235の課題に取り組む。	ま	(2)イ	C(1)ウ◎ C(2)ウ	【知識・技能】 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 [(2)イ] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。 [C(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべきことを整理して書こうとしている。
		漢字の広場4 熟語の構成	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 熟語の構成の基本的な型を知る。 	1 「熟語の構成」について理解し、「練習」によって理解の確認を行う。		(1)イ (1)ウ◎		【知識・技能】 ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
3月	九	四季の詩	2(書1)	<ul style="list-style-type: none"> ● 比喩や反復などの表現の技法を理解して使う。 ● 表現の効果について、根拠を明確にして考える。 	1 それぞれの詩のイメージを想像し、表現技法や工夫を理解する。四つの詩から一つ選び、自分なりの考えをまとめて伝え合う。 ※その詩が描く季節や出てきた題材について自分がもっていたイメージと比べたり、共感できたことを説明したりするよう伝える。 2 高見順の詩を参考に、詩を創作する。		(1)オ	C(1)エ◎ C(2)イ B(1)エ B(2)ウ	【知識・技能】 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 [(1)オ] 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。 [B(1)エ] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 [C(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで描写をもとに捉えるとともに、今までの学習を生かして詩を創作しようとしている。
		少年の日の思い出	7	<ul style="list-style-type: none"> ● 行動や心情を表す言葉や語句の文脈上の意味に注意して読み、 	1 「学びナビ」を読み、内容を確かめる。本文を通読し、作品の構成を理解する。 2 現在の「私」と「客」の場面の、「客」の心情を理解す	ま	(1)ウ	C(1)イ C(1)オ◎ C(2)イ	【知識・技能】 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)ウ]

			<p>語彙を豊かにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 語り手に着目して作品を読み、交流を通して自分の考えを確かなものにする 	<p>る。</p> <p>3 「僕」と「エーミール」のチョウに対する考え方の違いを捉え、「エーミール」に対する心情の変化をノートにまとめる。</p> <p>4 「僕」と「エーミール」はお互いのことをどう思っているかを捉え、盗みを犯した理由を考える。</p> <p>5 「僕」がチョウをこなごなにした理由を話し合う。</p> <p>*大事にしていたものを「こなごな」にした「僕」の気持ちを考え、その考えをグループで共有する。</p> <p>6 「視点」を変えた語り直しについて話し合う。</p> <p>7 「まなびリンク」を活用しながら作品の言葉と表現に着目し、言葉や表現の、場面や心情との結びつきについて理解する。</p>				<p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。[C(1)オ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く場面ごとのできごとや語り手などについて捉えるとともに、見通しをもって小説を読んで考えたことを伝えようとしている。</p>
	<p>言葉の小窓3 方言と共通語</p> <p>言葉（解説） 3 方言と共通語</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> 方言と共通語の特徴について知る。 	1 『言葉の小窓3』を読み、内容を確認したあと、P274～277『方言と共通語』を読み、内容を整理して「考えてみよう」に取り組む。	教 P268	(3)ウ◎		<p>【知識・技能】 ◎共通語と方言の果たす役割について理解している。[(3)ウ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで共通語と方言について調べ、学習の見通しをもって共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。</p>

総時数 118 時間（うち、話すこと・聞くこと 15 時間、書くこと 30 時間）

※「月」は学習時期のおおよそのめやす。

※「配当時数」欄の（ ）内は、配当時数に占める「話すこと・聞くこと」「書くこと」の時数。

※本表に記載のない教材については、適宜扱う。